

南小だより 1月

新年、おめでとうございます。今年は、子年。十二支のはじまりの年です。子どもたち、ご家族の皆様、地域の皆様が今年も健やかに過ごされるように心からお祈りします。今年度、授業で大事にしてきたことの中に、話し合いと振り返り活動の充実があります。2学期末に子どもたちの学びの足跡をたどってみました。5年生の算数科の授業で次のような振り返りを記している人がいました。「発見したことは、自分の考えにはない図や考え方があるということです。良かったことは、自分の考えのレパートリーが増えたということです。」算数の授業を通して、学習内容だけでなく、学ぶことの意味に気付いています。また社会科のノートには「ニュース番組で気をつけていることは、かまない(つまらない)ようにすることだと思っていたけれど、文字に命をふきこむことが大切だと分かりました。その文字の裏にはたくさんの人々の思いが詰まっているという言葉に胸を打たれました。」とありました。子どもたちの1日、1時間は、新たな発見の連続です。それは、教材や人、本やものとの出会い、体験によってもたらされます。今年もたくさんの感動を得られる授業づくり、学校づくりをめざします。



40周年記念の掲示用の額ができました。

全員が自己ベスト！

「全員が自己ベスト」この言葉は、オリンピック・パラリンピック東京2020大会の3つのビジョンのうちの1つです。本校で12月に行った長縄跳び記録会では、ほとんどのグループが目標記録を達成し、昨年度の同学年の最高記録を更新しました。失敗した人への温かい声かけ、リズム良く跳ぶための工夫、そして集中力。みなみっこの底力が発揮されたすばらしい記録会でした。さあ、次はマラソン記録に挑戦です。

1月の生活目標

進んで体をきたえよう

オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、スポーツ熱がどんどん高まっています。世の中には、様々なスポーツがあり、たくさんの選手が活躍しています。その中でも、私が尊敬するのは、サッカー選手の「キング・カズ」こと、三浦知良選手です。50歳を超えても、現役でゴールを狙う姿に感動します。三浦選手は、毎朝6時から走ることを自分に課しているそうです。それは、「走らなくてもいいや。」と楽な方へ傾く自分との闘いでもあるそうです。寒い冬でも目標を持って体を動かしたいですね。(生徒指導主事)

